

# KOKUTAI

月刊 医師国試対策

contents

スペシャルインタビュー

神戸大学大学院教授

岩田健太郎 先生

『KOKUTAI』大解剖

2014 年度の本誌を一足先に紹介！

2014  
準備号

FREE

研修医への  
ベストアプローチ



★お申込受付中!★  
詳細はP.22をチェック!

定期購読が  
お得です!

限定特典

- ① 定価の **35%OFF**
- ② 電子版 国試画像アトラス 2014
- ③ 発売日にご自宅までお届け & 送料無料

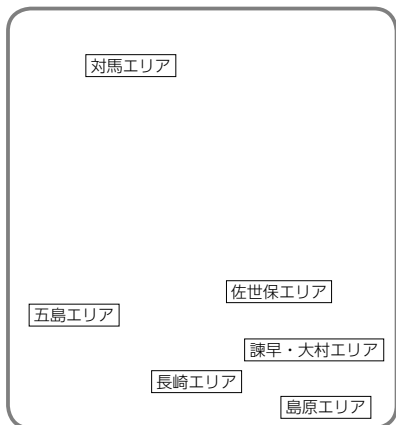
# 春休み、 長崎へ。

2014年  
研修病院選び。  
ベストな  
病院はここ！

初期研修は都心でやるのが有利なのでしょうか？ いやいやそんなことはありません。ここ数年マッチ数を伸ばしながら、安定した人気を保っている長崎県をみてみましょう。充実した研修プログラム、熱心な指導医の存在、県一体となったチャレンジ精神など、医師のスタートを切るうえで十二分な環境が整っています。そんな長崎の魅力の一端を次ページから紹介したいと思います。



各病院の研修医の方々。昨年（2013年）の12月14日（土）に行われた  
オール長崎「初期研修 合同説明会」（主催：新・鳴滝塾）の会場にて。



長崎県島原病院  
佐世保市立総合病院  
長崎労災病院  
佐世保中央病院  
佐世保共済病院  
長崎県五島中央病院  
長崎県上五島病院  
長崎県対馬いづはら病院

# 研修の充実度は研修医の“顔”でわかる！

## 長崎は いい 病院、 いい 人、 いい ところがたくさん



■ 諫早総合病院 [2年目研修医・左から上野 未貴先生、島崎 綾子先生]  
若手医師をきちんと育てるのだという意識が、指導医だけではなく全スタッフに浸透しています。また、内科が総合内科としてプログラムに組み込まれているので、入院から退院まで担当できるのも大きな特徴です。

ひしひしと伝わる！ 研修医を育てようという強い意識

■ 佐世保中央病院 [1年目研修医・池田 貴裕先生]

とにかく数多くの手技を経験することができています。300床の病院なのでスタッフ全員が顔見知りで、どんどん周りのスタッフから声をかけてもらえます。手技をたくさんやりたい学生さん、ぜひ一度見学に。



消化器内科 2カ月で、上部内視鏡検査を70例経験



■ 上戸町病院 [1年目研修医・中里 結花先生]

臨床研修病院としては日本で2番目に小さい病院(104床)です。医局と病棟が近いのですぐに患者さんのもとへ伺えますし、病院スタッフには何でも聞くことができる環境です。スモールメリット！を感じる素敵な病院です。

小さい病院ならではの、フットワークの良い研修が実現できる

■ 長崎原爆病院 [2年目研修医・有森 春香先生]

救急外来では内科、外科を含めて絶え間なく患者さんが来ます。内科当直の場合は研修医2名、指導医1名、外科では研修医1名、指導医1名で対応。指導体制のサポートは十二分で、100%満足の研修内容です。



多様・多彩な症例とともに、指導医のバックアップ体制は万全



■ 大村市民病院 [1年目研修医・陣野 太陽先生]

循環器をローテーション中ですが、学生時代に読んだ教科書に載っているものはだいたい経験できたと思います。他科との垣根も低く、働きやすい環境を提供してくれているため、どんどん成長していくのが実感できます。

読むではなく、診る！ 現場でたくさんの症例を経験する



■ 佐世保市立総合病院 [1年目研修医・西牟田 雅人先生]

各科に高いレベルの専門医の先生がおり、幅広い指導体制のもとで研修しています。現場での実践を重視しているため、研修医がファーストタッチを行い、診断・治療方針の相談、手技のサポートまで手取り足取りの指導をしてくれます。

地域病院だからこそ、徹底的にプライマリケアを学ぶ

■ 長崎みなとメディカルセンター市民病院 [1年目研修医・山口 峻先生]

研修医は初期対応を学ぶことが大事。そういう意味で、複数の疾患を抱えた患者さんを診られること、教えてほしいときに熱心に教えてくれる指導医がいることが大きなアドバンテージだと感じています。



とことん指導！ 信頼できる、頼りになる指導医



■ 長崎大学病院 [左から2年目研修医・江原 大輔先生、1年目研修医・梅根 隆介先生、岡本 百々子先生]

研修を始めてみると、イメージと違っていたり、興味が変わってくることはたくさんあります。融通が利くプログラムだと、自分が興味のある科を中心に研修することができるので、高いモチベーションで取り組むことができます。

自分で研修をデザイン。興味のある科でタイムリーに研修できる

■ 済生会長崎病院 [研修医1年目・清水 博先生]

僕は他県出身ですが、いま充実した研修生活を送ることができているのは、学生時代に新・鳴滝塾のサポートを受けて病院の情報収集や見学を行ったおかげです。長崎県の研修医を盛り上げる活動は本当にすごい。



地域に密着した病院で研修したい！ いい病院に出逢えた学生時代の見学



■ 上五島病院 [研修医2年目・丸山 淳也先生]

社会的背景の複雑な患者さんも多く、治療して終わりではなく、家に帰ってからどのように予後を過ごすのか、そこまで考えて対応します。家庭医・総合医を目指している僕にとって、この経験は大きな財産になりそうです。

患者さんに育てられる。離島での研修は大きな財産

■ 長崎医療センター [研修医2年目・左から森内 由季先生、鳥巢 裕一先生]

救命救急では未診断の患者さんに対応することで、自分でアセスメントから治療プランまで立てられるチカラが身に付きます。もし自分の手に負えないケースでも、院内で対応できるため、その後の経過を把握することも大きなメリットです。



臨床のチカラが身に付く。研修医にとってベストな環境

ズバリ！病院見学のポイントは？  
浜田先生に聞きました。

研修医の表情をよく見よう  
明るい、暗い!? それとも……

まず皆さんに気を付けてもらいたいのは、見学に行く前に必ず病院の基本的な情報を見ること。病床数、外来・入院患者数、救急搬送件数など、これらの情報は各病院のホームページで確認できると思います。

そして実際に見学に行ったら、研修医の「表情」を注意深く見てください。たいへんそうだけど、表情が生き生きしている、そんな研修医は充実した毎日を過ごしているのだと想像できます。あとは医師だけではなく、看護師さん、病院スタッフの様子も大事です。長崎県で実施した研修医アンケートでも、初期研修の病院を選んだ理由で「院内の雰囲気」を挙げる人が多くいます。これは医学教育的にも正しいことで、アットホームすぎるのは良くないですが、雰囲気がいいところほど学習効率が上がるという研究結果も出ています。

“忙しさ”を自慢する  
そんな研修医には要注意！

たまに「自分は患者さんを20～30名を担当している」と言う研修医がいます。ただこれはどうかな～というのが正直な感想。1日目は5～10名程度の受け持ち患者さんがいて、ある程度自分が勉強できる時間の確保と深く患者さんと接することが大切です。

病院によっては看護師さんからあれやこれやと言われ、下働きのようなことをさせられる研修医もいますが、これは本当に時間がもったいない。点滴の仕方や抗生剤の出し方などをちゃんと教えてもらっているか、このような基礎的なトレーニングの積み重ねによって、多くの患者さんを担当できるようになるのです。忙しさ自慢をする研修医には注意しましょう。

初期研修は長崎がベスト！  
その理由は？

初期研修の基本理念には、「プライマリケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）」を身に付けることとあります。初期研修に限って言えば、プライマリケアを実践するためには、僕は地方の病院の方が適していると思います。確かに都市部の病院の方が症例数は多いとは思いますが、一方で研修医もたくさんいるため、症例の取り合いになるケースもあります。地方は病院の数が少ない分、患者さんが集中してやってきますので、研修医が担当する症例や手技は十分にあります。また、勉強できる環境がある上で、即戦力として扱われることも大きい。研修する「場所」も大切なポイントです。

ちなみに長崎県内の病院は研修医を育てるために、ここ数年間、何が必要で、どういう指導が大切なのかをずっと考えてきました。例えば長崎大学病院では、臨床研修指導医養成のための講習会を年に3回実施し、いまでは約7割の人が指導医講習会を受講した厚労省認定の指導医資格をもっています。これは大学病院に限った話ではなく、県内の病院とのネットワークがしっかりしているため、他病院でも同じ指導医資格をもった先生方がたくさんいます。いい指導医がたくさん育つのは制度的に教育している面もありますが、長崎県は人を受け入れて育てるという文化が背景にあります。そして離島を含めているんな場所で、さまざまな患者さんと接することができるのは長崎ならではの大きな特徴です。

このように教えたがりな人がいて、県内のいろんな場所で医療を経験することができ、患者さんも優しい土地柄は、初期研修をするにあたってはベストな環境を提供できているのではないかと思います。ぜひ一度、春休みを利用して、長崎の病院を見学してみてください。僕が言ったことがウソじゃないと実感してもらえれば幸いです。

◆浜田久之（はまだ ひさゆき）先生  
新・鳴滝塾事務局長。内科医。長崎医療センターで研修医指導医に携わり、総合診療病棟を立ち上げる。カナダのトロント大学で医学教育を学び、長崎大学病院へ。11年より同大学の医療教育開発センター教授。

NAGASAKI HOSPITAL

ナガサキ 新・鳴滝塾  
ALL NAGASAKI

長崎県では、県内全ての臨床研修病院が一つにまとまって研修医の育成にあっています。その中心的な役割を果たしているのが新・鳴滝塾。医学生の病院見学時のフォローから研修医の教育まで、一貫した医師育成の体制を敷いています。県内の研修医同士が交流できるイベントも設けられ、臨床技能をスキルアップする環境も充実しています。

新・鳴滝塾17の研修病院への  
見学のコーディネート

病院見学・受験のための  
旅費をサポート

自分は〇〇科を志望しているんだけど、どんな病院がある

新・鳴滝塾のトライアングルコースってどんな内容

地域医療に興味があるんだけど、どこに行けば……

救急医療に強い病院を見学したい

1度にはいくつかの病院を回りたい

そんなときは、新・鳴滝塾にお問い合わせを！

長崎県医師臨床研修協議会「新・鳴滝塾」事務局  
●E-mail : info@narutaki-jyuku.jp  
●TEL : 095-865-8351  
●FAX : 095-819-7882

Information | ALL長崎 病院説明会

- ▶ 3月2日 日 レジナビフェア 2014 in 福岡 @マリンメッセ福岡
- ▶ 3月21日 金 祝 レジナビフェア 2014 in 東京 @東京ビッグサイト



新・鳴滝塾では毎年、民間医局主催のレジナビフェアに参加。新・鳴滝塾のブースは、県内の臨床研修病院の研修医と一度に接することができる貴重な場となっています。

新・鳴滝塾を利用して長崎に行こう！